

## 株主メモ

事業年度 每年4月1日から翌年3月31日まで  
定期株主総会 每年6月開催  
基準日 定時株主総会 每年3月31日  
期末配当金 每年3月31日  
中間配当金 每年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株  
株主名簿管理人および 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
特別口座の口座管理機関 住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲二丁目3番1号  
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒183-8701  
東京都府中市日鋼町1番10  
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417  
(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

■ 特別口座について  
株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公 告 方 法 当社のホームページに掲載する  
<http://www.daidoh-limited.com/>  
ただし、事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行なう  
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
名古屋証券取引所市場第一部



株式会社ダイドーリミテッド

経営管理室  
〒101-8619  
東京都千代田区外神田三丁目1番16号  
TEL.03-3257-5024 FAX.03-3257-5051



株主の皆様へ

## 第87期中間(第2四半期)報告書

2009年4月1日から2009年9月30日まで

DAIDOH  
FOR HIGHER QUALITY IN LIFE

株式会社ダイドーリミテッド

<http://www.daidoh-limited.com/>

証券コード 3205



代表取締役社長

安江 恵



代表取締役副社長

川畠 靖彦

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、かつてない厳しい事業環境に対応した業務改革と、グローバル企業としての躍進を目指した取り組みを推し進めております。いまだ出口の見えない景気動向の中、残念ながら黒字転換には至っておりませんが、損失を減少することができ、確かな成果も見え始めております。

株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループの経営にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 「グローバル企業への進化」と、これを後押しする「付加価値の拡大」を推し進め、成長軌道の回復を図ります。

### ■ 当第2四半期累計期間の営業の概況

当第2四半期累計期間の事業環境は、更に厳しさを増しております。一部で回復の兆しが散見されるようになったものの、実体経済の低迷はなおも続いており、雇用・所得環境の悪化が深刻となり、個人消費は引き続き冷え込んだ状況で推移いたしました。

衣料品業界においても、景気の先行き不安や雇用情勢の悪化、所得の伸び悩みなどで消費マインドが冷え込み、厳しい状況が続いております。

こうした景気低迷の長期化の影響を受け、当第2四半期累計期間における当社グループの連結業績は、前年同期比で売上高が15.4%減、営業損失2億1百万円の計上となりました。

ただ、現在全グループを挙げて取り組んでおります業務改革により、営業損失は前年同期の5億45百万円から3億44百万円の改善を果たすことができました。

### ■ 業務改革の概要

重点的な施策として、①売上総利益率の改善、②販売費及び一般管理費の削減、という2つのポイントが挙げられます。

具体的な取り組み内容として、まず、当社の製造機能が集約された中国工場においては、生産効率の向上と体制の整備に向け、各工場の特性に合わせた縮小又は拡大策を取っております。例えば、第一工場では約150名の人員削減、小ロット・短納期に適したラインへの整備を、第二工場ではラインの増強や

新設を、第三工場では自動機ラインの24時間操業体制の確立を、それぞれ行っております。

また、衣料事業全体（販売部門と工場群）で在庫の圧縮と各種経費の削減を実施すると同時に、販売部門では不採算店舗の撤退も進めています。

更に、不動産事業（小田原ダイナシティなど）においても諸経費の削減を徹底いたしております。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上総利益率は、前年同期比3.4ポイント向上し50.7%となり、また、営業活動によるキャッシュ・フローも、前年同期が11億円の支出超過となったのに対して当第2四半期累計期間は14億円の収入超過となりました。

### ■ 中期経営計画の進捗状況

当期より新たにスタートを切った中期経営計画では、今後の成長戦略の基礎となる強固な経営基盤を構築するための「業務改革」と、これを基礎に「グローバル企業への進化」を目指すための各種の戦略的取り組みを推し進めております。

「業務改革」につきましては、2010年4月1日を予定しております純粋持株会社体制への移行を核に、中国など海外子会社を含むグループ全体の経営効率の向上を図ります。この体制移行に先駆け、現在「業務改革推進室」が、生産管理・設計・事務間接部門など各部門の業務改善を隨時実行に移しております。

一方、「グローバル企業への進化」を目指した戦略においては、「オーダービジネス」、「EC（電子商取引）事業」、「新ニット事業」など、新たな取り組みが始まっています。

おかげさまで、**130**  
YEAR  
anniversary

「オーダービジネス」は、中国工場の稼働率向上に寄与すると同時に、他社ブランドとの付加価値の差別化を図りながら新たな客層の獲得を狙っております。好調な滑り出しを見せたブルックス ブラザーズ アジアに加え、ニューヨーカーのウィメンズにおいてもバターンメイドを拡大し、2009年9月と10月の2ヵ月で50百万円を売上げるなど順調なスタートを切っております。

「EC事業」では、「ニューヨーカー」ブランドのオンラインショップを2009年11月に新設し、会員数は既に5,000名近くに及んでおります。

更に「新ニット事業」では、中国工場群をフル活用し、中国から発信する事業としてニット糸の企画・製造・販売からOEM対応、更には製品に至る一連の事業を再構築すること狙いとしております。イタリアのニットデザイナーとのデザイン契約、イタリアニット糸メーカーとの業務提携により、イタリアンテイストをふんだんに織り込んだニット糸とニット製品に仕上げ、グローバル競争力の高いモノづくりを推し進めてまいります。2010年秋冬コレクションより事業の本格化を図り、2012年3月期には10億円の売上高を目指しております。

おかげさまで当社は本年、130周年を迎えることができました。今後も中長期の視点からの経営を重視し、中期経営計画の推進により現在の難局を乗り越え、企業価値の向上を図ってまいります。



# 「ニューヨーカー」の オンラインストアを新設

当社ブランド「ニューヨーカー」のオンラインショップへは、こちらのアドレスよりお入りいただけます。

[www.newyorker-store.com](http://www.newyorker-store.com)

EC事業の第一弾として、当社のブランド「ニューヨーカー」の「オンラインストア」を2009年11月11日にグランドオープンいたしました。

近くに店舗がないお客様や忙しくて店舗へ行く時間の無いお客様にも、

ニューヨーカーの商品を提供させていただきたいとの想いで始めたEC事業です。

## 当社オンラインストアの特徴

### 1 使いやすさ

“使いやすさ”をコンセプトにデザインしておりますので、スムーズかつ詳細に商品をご覧いただけます。

### Feature 2 店舗のライブ感

各商品について店舗スタッフのメッセージを掲載し、店舗のイベント情報をメール配信するなど、オンラインストアでも店舗のライブ感を体感できるサービスが特徴であります。



2009年11月11日グランドオープン

# Grand Open!!

### Feature 3 オンラインストア独自の楽しさ

品揃えに制約のないオンラインストアの特徴を活かして限定企画商品を販売するなど、オンラインストア独自の楽しみもご提供していく予定です。

### Feature 4 店舗と同様のアフターケア

お買い上げいただいた商品は、店舗でのご購入と同様のアフターケアサービスをいたしますので、安心してご購入いただけます。



# Neat & Comfortable Style

きちんと感をもってみたい…

もっと軽く、もっと心地よく…

知的に見えるけれど、やわらかさも欲しい…

人に押し付けられるのではなく、

自分の感性を信じたい…

外にも内にも不安感の漂ういま、

着たときの心地よさやそこからくる安心感が

求められているように感じられます。

ニューヨーカー2009年秋冬コレクションは、

きちんとしているながら心地よい

そんな安心感をご提案します。



Autumn & Winter Collection

## Men's



Autumn & Winter Collection

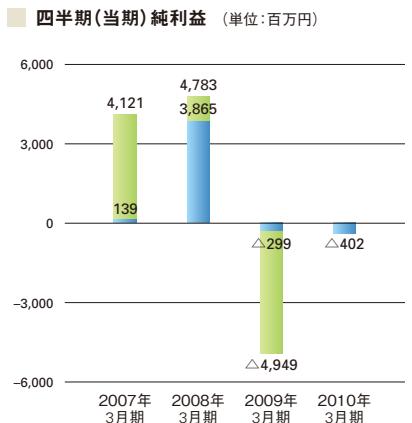
## Women's



ライトウェイトに加え、素材の柔らかさや着用感のよさに重点を置いています。

「ブリティッシュ・カントリーテイスト」を意識したアイテムやパターンにクローズアップし、バーガンディーをキーカラーに都会における洗練されたニューカントリーイメージをご提案します。スーツは、ライトウェイトで光沢感のある素材を使い、ソフトコンストラクションにこだわりました。

## 連結財務ハイライト



(特に記載のない限り2009年9月30日現在の状況です。)

■ 通期 ■ 第2四半期

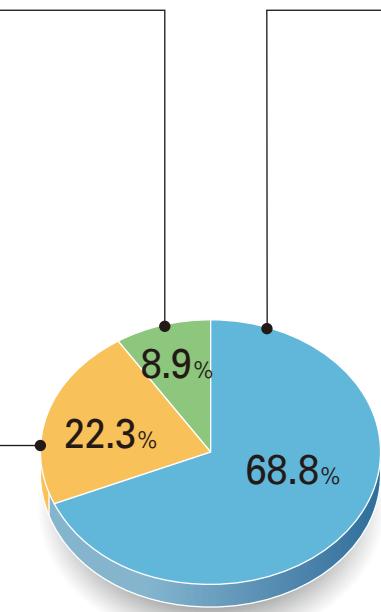
## 事業別営業概況(連結)

### 衣料原料事業

中国工場では、世界的な不況の影響で、OEM取引先を含めて受注が大幅に減少いたしました。高価格帯商品の売り上げ不振は、当社の得意とする高品質素材・製品の製造・販売に大きく影響しております。

業務改革を実行し、人員削減などのコスト削減を進めているものの、売上高の減少を補いきれず、低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は1,137百万円(前年同期比25.8%減)、営業損失は238百万円(前年同期は、営業損失177百万円)となりました。



### 衣料製品事業

ニューヨーカーのメンズについては、百貨店を中心に販売の不振が続き、売上高が大きく落ち込みました。ウィメンズについても、メンズと同様に百貨店のプロパー販売が苦戦いたしました。ともに、コーディネートでのまとめ買いが減り、単品での購入が多くなっている傾向が見られました。

また、ブルックス ブラザーズをはじめとしたOEM事業も、受注が減少いたしました。

このようななかで、ウィメンズでは、昨年度に在庫を圧縮したため過大な廉価販売を避けることができ、売上利益率を改善することができました。また、ニューヨーカーでは不採算店舗の撤退や経費の削減を進めており、売上高は前年を下回ったものの、営業損失は前年よりも縮小いたしました。

中国における販売については、売上高は前年を上回りましたが、不況の影響を受け計画には届かず、営業損失となりました。

以上の結果、売上高は8,747百万円(前年同期比16.7%減)、営業損失は552百万円(前年同期は、営業損失660百万円)となりました。

### 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、神奈川県小田原市の商業施設「ダイナシティ」と自社保有ビルの賃貸運営が主な事業内容であります。

「ダイナシティ」の専門店は、衣料品等販売などの物販については、消費不振の影響で売上高が前年を下回りました。一方、より集客力のあるテナントを誘致するため、7月から一部のリニューアル工事を実施いたしました。

自社保有ビルはテナントの入れ替えがあり、リーシング期間中の売上が減少いたしました。

また、当事業においても経費の削減を進めています。

以上の結果、売上高は2,837百万円(前年同期比3.6%減)、営業利益は1,159百万円(前年同期比24.4%増)となりました。

(注) 売上高構成比は、セグメント間の内部売上高を含む金額で算出しております。(合計額12,722百万円を分母として算出)

# 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

単位：百万円

単位：百万円

前第2四半期連結会計期間 当第2四半期連結会計期間 前連結会計年度末  
2008年9月30日現在 2009年9月30日現在 2009年3月31日現在

前第2四半期連結会計期間 当第2四半期連結会計期間 前連結会計年度末  
2008年9月30日現在 2009年9月30日現在 2009年3月31日現在

| 資産の部          |        |        |        |
|---------------|--------|--------|--------|
| <b>流動資産</b>   |        |        |        |
| 現金及び預金        | 14,126 | 13,956 | 13,311 |
| 受取手形及び売掛金     | 2,007  | 4,048  | 2,630  |
| 有価証券          | 2,883  | 2,313  | 2,946  |
| たな卸資産         | 999    | 993    | 999    |
| その他           | 7,177  | 5,425  | 5,567  |
| 貸倒引当金         | 1,071  | 1,202  | 1,179  |
|               | △ 11   | △ 28   | △ 11   |
| <b>固定資産</b>   |        |        |        |
| 有形固定資産        | 50,000 | 38,973 | 42,603 |
| 無形固定資産        | 18,536 | 16,792 | 17,261 |
| 投資その他の資産      | 394    | 385    | 370    |
| 投資有価証券        | 31,069 | 21,794 | 24,970 |
| その他           | 28,161 | 19,363 | 21,336 |
| 貸倒引当金         | 3,131  | 2,658  | 3,865  |
|               | △ 224  | △ 227  | △ 231  |
| <b>① 資産合計</b> |        |        |        |
|               | 64,127 | 52,929 | 55,914 |

| 負債の部            |         |         |        |
|-----------------|---------|---------|--------|
| <b>流動負債</b>     |         |         |        |
| 支払手形及び買掛金       | 16,586  | 13,942  | 15,085 |
| 短期借入金           | 3,190   | 1,825   | 2,126  |
| 1年内返済予定の長期借入金   | 9,088   | 8,888   | 9,604  |
| その他             | 2,085   | 1,250   | 1,250  |
|                 | 2,221   | 1,978   | 2,100  |
| <b>固定負債</b>     |         |         |        |
| 長期借入金           | 13,217  | 11,605  | 12,558 |
| 長期預り保証金         | 1,250   | —       | 625    |
| その他             | 10,343  | 9,879   | 10,246 |
|                 | 1,623   | 1,725   | 1,687  |
| <b>負債合計</b>     |         |         |        |
|                 | 29,803  | 25,547  | 27,644 |
| <b>純資産の部</b>    |         |         |        |
| <b>株主資本</b>     |         |         |        |
| 資本金             | 34,639  | 27,004  | 28,570 |
| 資本剰余金           | 6,891   | 6,891   | 6,891  |
| 利益剰余金           | 8,770   | 8,763   | 8,765  |
| 自己株式            | 21,385  | 14,799  | 16,015 |
| △ 2,408         | △ 3,449 | △ 3,101 |        |
| <b>評価・換算差額等</b> |         |         |        |
| その他有価証券評価差額金    | △ 574   | 124     | △ 544  |
| △ 1,438         | △ 307   | △ 785   |        |
| 為替換算調整勘定        | 864     | 432     | 240    |
| <b>新株予約権</b>    |         |         |        |
| 少数株主持分          | 106     | 134     | 129    |
| 152             | 117     | 114     |        |
| <b>純資産合計</b>    |         |         |        |
|                 | 34,323  | 27,381  | 28,270 |
| <b>負債純資産合計</b>  |         |         |        |
|                 | 64,127  | 52,929  | 55,914 |

① 資産合計

当第2四半期累計連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ29億85百万円減の529億29百万円となりました。主な内容は、現金・預金の増加、投資有価証券の償還・売却による減少と時価の上昇による期末時価評価額の増加、有形固定資産の減価償却による減少によるものです。

① 資産合計

② 有利子負債

当第2四半期累計連結会計期間末の有利子負債(短期借入金+1年内返済予定の長期借入金+長期借入金)は、前連結会計年度末に比べ13億41百万円減少し、101億38百万円となりました。

③ 純資産合計

当第2四半期累計連結会計期間末の純資産合計は、配当金の支払(利益剰余金の減少)、その他有価証券評価差額金が増加(マイナスの減少)等により8億89百万円減の273億81百万円となりましたが、借入金返済等による負債の減少もあり、自己資本比率は1.2ポイント向上し51.3%となりました。

## 四半期連結財務諸表

| 四半期連結損益計算書(要旨)                    |  |        |  |
|-----------------------------------|--|--------|--|
|                                   | 前第2四半期連結会計期間<br>2008年4月1日～<br>2008年9月30日 |        | 当第2四半期連結会計期間<br>2009年4月1日～<br>2009年9月30日 |
|                                   | 前連結会計年度末<br>2008年3月31日                   |        | 2009年3月31日                               |
| ④ 売上高                             | 14,653                                   | 12,391 | 30,526                                   |
| 売上原価                              | 7,727                                    | 6,105  | 15,529                                   |
| 売上総利益                             | 6,926                                    | 6,285  | 14,996                                   |
| 販売費及び一般管理費                        | 7,471                                    | 6,487  | 14,757                                   |
| ⑤ 営業利益又は営業損失(△)                   | △ 545                                    | △ 201  | 239                                      |
| 営業外収益                             | 566                                      | 508    | 951                                      |
| 営業外費用                             | 419                                      | 628    | 929                                      |
| 経常利益又は経常損失(△)                     | △ 398                                    | △ 320  | 261                                      |
| 特別利益                              | 515                                      | 392    | 534                                      |
| 特別損失                              | 47                                       | 131    | 6,760                                    |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期(当期)純損失(△) | 69                                       | △ 59   | △ 5,963                                  |
| 法人税、住民税及び事業税                      | 404                                      | 28     | 116                                      |
| 法人税等調整額                           | △ 29                                     | 317    | △ 1,107                                  |
| 法人税等合計                            | 375                                      | 346    | △ 990                                    |
| 少数株主損失(△)                         | △ 6                                      | △ 3    | △ 24                                     |
| 四半期(当期)純損失(△)                     | △ 299                                    | △ 402  | △ 4,949                                  |

### ④ 売上高

売上高は前年同期比15.4%減の123億91百万円となりました。これは主に、景気後退の長期化による消費マインドの冷え込みの影響から、国内百貨店販売の落ち込み、OEM受注の大幅な減少などによります。なお、中国における衣料製品の販売は前年同期を上回る水準で推移しております。

### ⑤ 営業損失

売上高が減少する中、営業損失は前年同期の5億45百万円から大幅に縮小し2億1百万円となりました。これは、中国工場群等における経費の削減、生産の効率化、国内販売部門を含めた在庫の圧縮などによります。

| 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) |  |         |  |
|-----------------------|--|---------|--|
|                       | 前第2四半期連結会計期間<br>2008年4月1日～<br>2008年9月30日 |         | 当第2四半期連結会計期間<br>2009年4月1日～<br>2009年9月30日 |
|                       | 前連結会計年度末<br>2008年3月31日                   |         | 2009年3月31日                               |
| ⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー    | △ 1,174                                  | 1,466   | 730                                      |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー      | 2,759                                    | 2,472   | 3,997                                    |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー      | △ 3,847                                  | △ 2,519 | △ 6,239                                  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額      | △ 9                                      | △ 0     | △ 137                                    |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)   | △ 2,272                                  | 1,418   | △ 1,649                                  |
| 現金及び現金同等物期首残高         | 4,279                                    | 2,630   | 4,279                                    |
| 現金及び現金同等物四半期末(期末)残高   | 2,007                                    | 4,048   | 2,630                                    |

### ⑥ キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費11億25百万円、たな卸資産の減少2億34百万円等があり、14億66百万円の収入超過となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出4億14百万円がありました。投資有価証券売却による収入15億98百万円、有価証券の償還による収入10億円等があり、24億72百万円の収入超過となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額8億13百万円、長期・短期借入金の返済による支出13億25百万円、自己株式の取得による支出3億52百万円等により、25億19百万円の支出超過となりました。

これらの結果、当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、40億48百万円となりました。

## グループ編成

### ■ 事業活動と主要なグループ会社

当社グループの連結子会社は13社、持分法適用関連会社は1社あり、取り扱い品目や顧客は各社により異なっておりますが、グループを通して『お客様第一』『品質本位』の基本を共有して事業運営に当たっております。



### 衣料製品事業

販 売 株式会社ニューヨーカー  
上海纽约克服装销售有限公司  
(SHANGHAI NEWYORKER CLOTHING SALES CO., LTD.)  
北京纽约克服装销售有限公司  
(BEIJING NEWYORKER CLOTHING SALES CO., LTD.)  
\*株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパン



製 造 大同利美特時装(上海)有限公司  
(DAIDOH LIMITED CLOTHING (SHANGHAI) CO., LTD.)  
大同佳乐登(马鞍山)有限公司  
(DAIDOH JARDIN (MAANSHAN) CO., LTD.)



貿 易 株式会社ダイドーインターナショナル  
大同利美特貿易(上海)有限公司  
(DAIDOH LIMITED TRADING (SHANGHAI) CO., LTD.)  
\*持分法適用関連会社

### 衣料原料事業

製造・販売 芭贝(上海)毛线编结有限公司  
(PUPPY (SHANGHAI) YARN HAND-KNIT CO., LTD.)  
製 造 大同利美特(上海)有限公司  
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) CO., LTD.)  
大同利美特染整(上海)有限公司  
(DAIDOH LIMITED DYEING & FINISHING (SHANGHAI) CO., LTD.)



※当社は2010年4月1日付で純粹持株会社体制への移行を計画しており、その一環として、株式会社ダイドーインターナショナルへの株式会社ダイナシティの吸収合併などを予定しております。

### 不動産賃貸等事業

株式会社ダイナシティ  
大同利美特(上海)管理有限公司  
(DAIDOH LIMITED (SHANGHAI) MANAGEMENT CO., LTD.)  
株式会社ダイドーシェアードサービス

(特に記載のない限り2009年9月30日現在の状況です。)

## 会社情報

(特に記載のない限り2009年9月30日現在の状況です。)

### 会社概要

#### ■ 株式会社 ダイドーリミテッド DAIDOH LIMITED

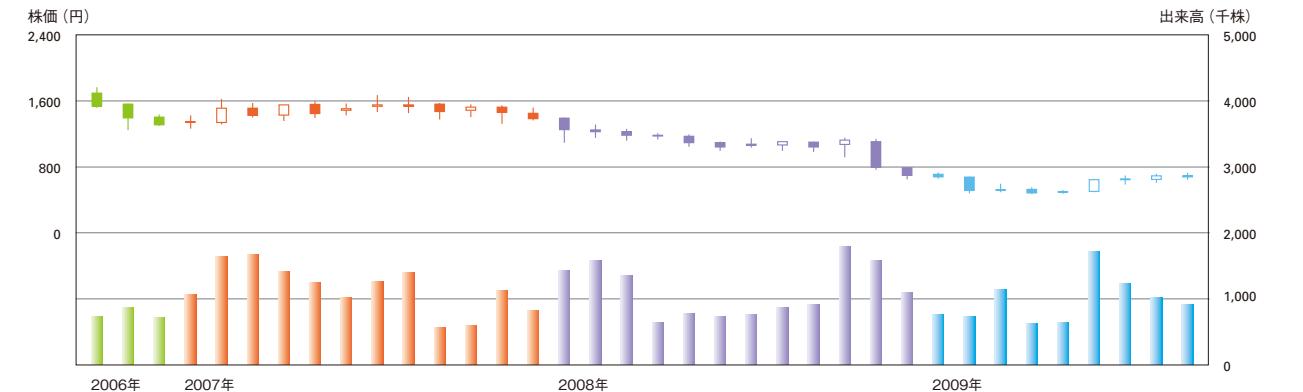
創業 1879年(明治12年)1月  
設立 1949年(昭和24年)10月17日  
資本金 6,891,851,938円

#### ■ 取締役および監査役

|           |        |
|-----------|--------|
| 代表取締役社長   | 安江 恵   |
| 代表取締役副社長  | 川西 靖彦  |
| 取締役上席執行役員 | 和賀 勇   |
| 取締役上席執行役員 | 大川 伸   |
| 取締役上席執行役員 | 田口 正幸  |
| 取締役執行役員   | 村尾 勤   |
| 取締役執行役員   | 戸澤 かない |
| 監査役(常勤)   | 大木 邦治  |
| 監査役(常勤)   | 林 玄    |
| 監査役(弁護士)  | 桃尾 重明  |
| 監査役(弁護士)  | 田口 哲朗  |

(注) 桃尾重明、田口哲朗の両氏は、社外監査役であります。

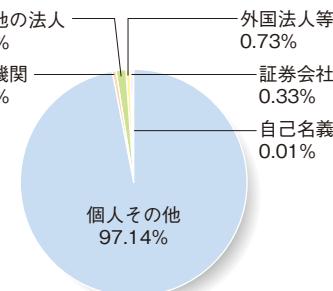
#### ■ 株価の推移グラフ



## 株式関連情報

### 株式の状況

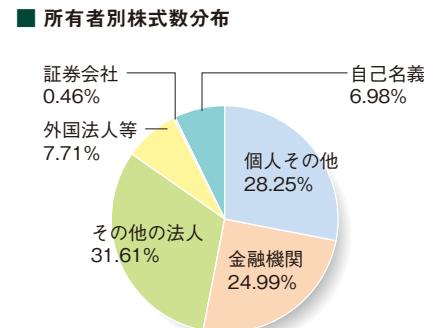
|                     |                        |                                  |
|---------------------|------------------------|----------------------------------|
| ■ 発行可能株式総数          | 150,000,000株           | ■ 所有者別株主数分布                      |
| ■ 発行済株式の総数(自己株式を含む) | 37,696,897株            | その他法人等 1.41% 外国法人等 0.73%         |
| ■ 株主数               | 8,371名<br>(前期末 8,878名) | 金融機関 0.38% 証券会社 0.33% 自己名義 0.01% |



### ■ 大株主

| 株主名                         | 所有株式数(百株) |
|-----------------------------|-----------|
| 株式会社オンワードホールディングス           | 66,000    |
| 三井住友海上火災保険株式会社              | 18,457    |
| 株式会社ソニー                     | 12,500    |
| JP MORGAN CHASE BANK 380084 | 11,970    |
| 住友信託銀行株式会社                  | 11,340    |
| 株式会社みずほコーポレート銀行             | 11,283    |

(注) 自己株式(2,630,219株)は上記大株主から除外しております。



\*本報告書に記載されている計画、戦略などは、将来の予測であってリスクや不確定要素を含んでおります。